平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名　株式会社 ゴルフ･ドゥ　　上場取引所　名
コード番号　3032　URL　http://www.golfdo.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 伊東　龍也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長　(氏名) 大井　康生　TEL 048-851-3111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,180	△2.0	21	△50.6	21	△50.3	15	△52.7
25年3月期第1四半期	1,205	21.5	43	143.5	43	145.3	32	136.8

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　27百万円　(△0.6%)　25年3月期第1四半期　27百万円　(133.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1,250.64	―
25年3月期第1四半期	2,642.26	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,214	554	25.0	44,676.83
25年3月期	2,127	526	24.8	42,465.15

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　554百万円　25年3月期　526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	8.5	110	23.4	100	8.4	40	62.4	3,224.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、公表を差し控えさせていただいております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	13,113 株	25年3月期	13,113 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	709 株	25年3月期	709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	12,404 株	25年3月期1Q	12,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による大胆な金融緩和策による景気回復への期待感から円安・株高へと転じる一方で輸入品や輸入原燃料等の高騰や海外景気に対する不安感や中国をはじめとする新興国経済の減速などの影響を受け、株式市場等における激しい変動等、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが所属するゴルフ業界におきましては、人気ブランドの一部ヒット商品がゴルフ用品市場を牽引した昨季と比べ、2013年度の新商品にはヒット商品不在という状況下で消費者の購買意欲を鈍らせております。しかしながら、プレー人口におきましては、ゴルフ場／練習場の利用者数が平成25年５月には前年同月比102.8%／97.7%と堅調に推移しております（経済産業省「特定サービス産業動態調査」）。

このような経営環境のもと、当社グループでは前期から引き続き、さらなる事業全体の収益性向上を目指し、業務の効率化を図ることに努めてまいりました。しかしながら、営業販売事業では、昨年暮れ以降の急激な円安により輸入商材の割安感がなくなったことで一時的に大幅な受注減となりました。そして、直営事業、フランチャイズ事業ともに依然として高額商品に対する消費者の節約志向は強く、価格競争による収益を圧迫する厳しい状況が続いております。また、店舗につきましては、直営事業では、平成25年４月20日「環七練馬店（東京都）」を１店舗出店いたしました。フランチャイズ事業においては平成25年５月小規模店舗が３店舗閉店いたしました。その結果、平成25年６月末日現在の営業店舗数は全国で合計72店舗となっております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は売上高が11億80百万円、営業利益が21百万円、四半期純利益は15百万円となりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	H25年４月	H25年５月	H25年６月	第1四半期合計
チェーン全店	97.5%	101.9%	101.3%	100.3%
チェーン既存店	94.1%	98.4%	98.7%	97.0%
直営全店	106.4%	114.4%	111.7%	110.8%
直営既存店	97.3%	102.8%	101.6%	100.5%
ＦＣ全店	93.6%	96.4%	96.6%	95.5%
ＦＣ既存店	92.7%	96.4%	97.4%	95.5%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

（直営事業）

当第１四半期連結累計期間においては、スーパーバイザー制度を復活させた新体制のもと、さらなる顧客満足のための弊社独自の接客向上策と店舗ごとの予算達成のための行動計画を推進したことにより、当第１四半期の売上高前年比は110.4%と増収となりました。しかしながら、依然として高額商品に対する消費者の節約志向は強く、販売・買取りともに価格競争による収益を圧迫する厳しい状況が続き、セグメント利益前年比は91.0%にとどまりました。

その結果、直営事業の売上高は７億56百万円（前第１四半期連結累計期間６億85百万円）となりました。また、セグメント利益は51百万円（同56百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第１四半期連結累計期間においては、平成25年５月中旬にエリアフランチャイズ加盟企業の方針変更に伴い、小規模店舗が３店舗閉店したことにより、当初想定した予算のとおりには加盟店の売上高が達成できなかったものの、商品や備品の販売などにより、当第１四半期の売上高前年比は100.9%と増収を確保いたしましたが、計画通りのロイヤリティ収入までは確保することはできず、セグメント利益前年比は95.5%となりました。

その結果、フランチャイズ事業の売上高は98百万円（前第１四半期連結累計期間97百万円）となりました。また、セグメント利益は37百万円（同39百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第１四半期連結累計期間においては、当第１四半期の売上高前年比は73.7％となり減収減益となりました。その大きな理由といたしましては、昨年暮れ以降の急激な円安による輸入商材の割安感がなくなったこと、そして人気ブランドの一部ヒット商品がゴルフ用品市場を牽引した昨季と比べ、2013年度の新商品にはヒット商品不在であったことから大口取引先からの受注が大幅に減少いたしました。

その結果、営業販売事業の売上高は３億25百万円（前第１四半期連結累計期間４億22百万円）となりました。また、セグメント利益は△１百万円（同５百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は22億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。

流動資産は、15億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円の増加となりました。これは主に現預金が１億65百万円増加、商品及び製品が80百万円減少したことによるものです。

固定資産は、６億33百万円となり、前連結会計年度末と同等額で推移しました。これは主に新規出店による有形固定資産15百万円の増加と減価償却費８百万円、のれん償却費４百万円によるものです。

（負債）

流動負債は、８億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少しました。これは主に短期借入金が38百万円増加したことと、買掛金が83百万円減少したことによるものです。

固定負債は、７億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。これは主に長期借入金が88百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は５億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益15百万円及び評価換算差額によるものです。この結果、自己資本比率は25.0％（前連結会計年度末は24.8％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月13日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	253,818	419,229
受取手形及び売掛金	213,567	226,708
商品	947,867	866,968
繰延税金資産	38,562	36,786
その他	40,992	32,749
貸倒引当金	△1,781	△1,711
流動資産合計	1,493,026	1,580,730
固定資産		
有形固定資産	205,204	213,285
無形固定資産		
のれん	39,322	34,953
その他	35,539	34,724
無形固定資産合計	74,861	69,677
投資その他の資産		
敷金及び保証金	154,035	150,071
建設協力金	140,983	138,436
投資有価証券	14,481	18,356
繰延税金資産	1,309	1,373
その他	45,514	44,608
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	354,157	350,679
固定資産合計	634,223	633,643
資産合計	2,127,249	2,214,373
負債の部		
流動負債		
買掛金	283,766	200,446
短期借入金	261,419	300,000
1年内返済予定の長期借入金	219,066	226,198
未払法人税等	14,874	5,859
賞与引当金	20,179	14,516
ポイント引当金	21,402	22,106
その他	110,772	124,015
流動負債合計	931,481	893,142
固定負債		
長期借入金	487,092	575,945
繰延税金負債	6,029	6,029
退職給付引当金	103,267	110,243
資産除去債務	28,341	30,541
その他	44,300	44,300
固定負債合計	669,031	767,059
負債合計	1,600,512	1,660,202

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,320	501,320
資本剰余金	178,372	178,372
利益剰余金	△140,620	△125,343
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	515,447	530,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,523	1,351
為替換算調整勘定	13,813	22,095
その他の包括利益累計額合計	11,290	23,447
純資産合計	526,737	554,171
負債純資産合計	2,127,249	2,214,373

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,205,150	1,180,897
売上原価	826,999	787,679
売上総利益	378,150	393,217
販売費及び一般管理費	334,155	371,502
営業利益	43,995	21,715
営業外収益		
受取利息	814	905
受取手数料	660	618
為替差益	1,146	1,345
その他	767	147
営業外収益合計	3,389	3,017
営業外費用		
支払利息	3,481	2,909
その他	197	111
営業外費用合計	3,679	3,021
経常利益	43,705	21,711
税金等調整前四半期純利益	43,705	21,711
法人税、住民税及び事業税	8,760	4,585
法人税等調整額	2,169	1,612
法人税等	10,930	6,198
少数株主損益調整前四半期純利益	32,774	15,512
四半期純利益	32,774	15,512

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	32,774	15,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,065	3,875
為替換算調整勘定	△3,862	8,281
その他の包括利益合計	△4,927	12,157
四半期包括利益	27,846	27,669
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,846	27,669

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント利益	56,122	39,503	5,626	101,252

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	101,252
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△52,887
四半期連結損益計算書の営業利益	43,995

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	756,580	98,354	325,962	1,180,897
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	756,580	98,354	325,962	1,180,897
セグメント利益又は損失(△)	51,068	37,737	△1,435	87,370

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	87,370
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△61,285
四半期連結損益計算書の営業利益	21,715

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。